

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年3月1日(2023.3.1)

【公開番号】特開2021-131593(P2021-131593A)

【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2021-042

【出願番号】特願2020-25035(P2020-25035)

【国際特許分類】

G 06 V 30/12(2022.01)

10

G 06 V 30/412(2022.01)

【F I】

G 06 K 9/03 J

G 06 K 9/20 340 C

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月20日(2023.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

帳票画像から複数の項目値領域を検出する第一の検出手段と、

前記帳票画像から前記複数の項目値領域それぞれに対応する複数の項目名領域を検出する第二の検出手段と、

前記複数の項目値領域それぞれの画像の文字認識結果に基づき、複数の項目値を取得する第一の取得手段と、

確認画面を表示する表示手段と

30

を有し、

前記確認画面は、

前記帳票画像の全体または一部を表示する第一の表示領域と、

複数の項目種類それぞれに対して、前記第一の取得手段で取得した前記複数の項目値のうちの対応する項目値を表示する第二の表示領域と、

前記複数の項目種類それぞれに対して、前記表示されている項目値に対応する項目値領域及び項目名領域を含む項目画像を表示する第三の表示領域とを含む、ことを特徴とするデータ入力支援装置。

【請求項2】

前記表示手段は、前記複数の項目種類それについて、前記項目値の正規形が一致する複数の項目値領域をグループ化した前記項目画像を前記第三の表示領域に表示することを特徴とする請求項1記載のデータ入力支援装置。

【請求項3】

前記正規形は、前記複数の項目種類それとに決められた書式に基づくことを特徴とする請求項2記載のデータ入力支援装置。

【請求項4】

前記複数の項目名領域それぞれの画像の文字認識結果に基づき、複数の項目名を取得する第二の取得手段をさらに有し、

前記表示手段は、前記複数の項目種類それに対して、前記第二の取得手段で取得した前記複数の項目名のうちの対応する項目名を、前記複数の項目値それに対して重複

40

50

しないように選択し、当該選択された項目名に対応する項目名領域の画像を前記項目画像として前記第三の表示領域に表示することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のデータ入力支援装置。

#### 【請求項5】

前記表示手段は、前記項目値領域及び前記項目名領域の外接矩形領域を前記帳票画像から切り出し、前記外接矩形領域の間の距離が閾値より大きければ前記距離を小さくした画像を前記項目画像として作成することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のデータ入力支援装置。

#### 【請求項6】

前記表示手段は、ユーザによって選択された前記項目画像に対応する前記項目値領域及び前記項目名領域を包含し、かつ前記項目値領域及び前記項目名領域が所定のサイズよりも大きくなるように、前記第一の表示領域における前記帳票画像をトリミングして表示することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のデータ入力支援装置。

10

#### 【請求項7】

前記表示手段は、前記ユーザによって前記帳票画像の表示位置あるいは表示倍率が変更された結果、選択された前記項目画像に対応する前記項目値領域あるいは前記項目名領域が前記第一の表示領域に表示された前記帳票画像の画像外にある場合には、前記画像外にある前記項目値領域あるいは前記項目名領域を、前記第一の表示領域に表示された前記帳票画像の枠上に表示することを特徴とする請求項6記載のデータ入力支援装置。

#### 【請求項8】

コンピュータを、請求項1乃至7のいずれか1項に記載のデータ入力支援装置として機能させるためのプログラム。

20

#### 【請求項9】

帳票画像の確認画面を表示する表示装置であって、前記確認画面は、  
前記帳票画像の全体または一部を表示する第一の表示領域と、  
前記帳票画像の複数の項目種類それぞれに対して、複数の項目値領域の複数の項目値のうち対応する項目値を表示する第二の表示領域と、  
前記複数の項目種類それぞれに対して、前記表示されている項目値に対応する項目値領域及び項目名領域を含む項目画像を表示する第三の表示領域と、  
を含むことを特徴とする表示装置。

30

#### 【請求項10】

帳票画像から複数の項目値領域を検出する第一の検出工程と、  
前記帳票画像から前記複数の項目値領域それぞれに対応する複数の項目名領域を検出する第二の検出工程と、  
前記複数の項目値領域それぞれの画像の文字認識結果に基づき、複数の項目値を取得する第一の取得工程と、  
確認画面を表示する表示工程と  
を含み、

前記確認画面は、

40

前記帳票画像の全体または一部を表示する第一の表示領域と、  
複数の項目種類それぞれに対して、前記第一の取得工程で取得した前記複数の項目値のうちの対応する項目値を表示する第二の表示領域と、  
前記複数の項目種類それぞれに対して、当該表示されている項目値に対応する項目値領域及び項目名領域を含む項目画像を表示する第三の表示領域とを含む、  
ことを特徴とするデータ入力支援方法。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【 0 0 0 8 】

本発明の一実施形態におけるデータ入力支援装置は、帳票画像から複数の項目値領域を検出する第一の検出手段と、前記帳票画像から前記複数の項目値領域それぞれに対応する複数の項目名領域を検出する第二の検出手段と、前記複数の項目値領域それぞれの画像の文字認識結果に基づき、複数の項目値を取得する第一の取得手段と、確認画面を表示する表示手段とを有し、前記確認画面は、前記帳票画像の全体または一部を表示する第一の表示領域と、複数の項目種類それぞれに対して、前記第一の取得手段で取得した前記複数の項目値のうちの対応する項目値を表示する第二の表示領域と、前記複数の項目種類それぞれに対して、前記表示されている項目値に対応する項目値領域及び項目名領域を含む項目画像を表示する第三の表示領域とを含む、ことを特徴とする。

10

20

30

40

50